

レンカ区・富山市都市間連携セミナー

11月21日、富山市とレンカ区が取り組む脱炭素社会の実現に向けた都市間連携事業に関するセミナー「カーボンニュートラルに向けて」が開催されました。

レンカ区は国連の気候変動緩和キャンペーン「Race to Zero」への参加をはじめカーボンニュートラルに向け積極的に取り組む都市であり、また、富山市はSDGs未来都市として日本の取組を牽引するモデル都市です。両都市は、2019年に締結した協力協定を契機に、レンカ区が抱える課題に富山市のSDGs未来都市計画の知見及び経験を通じて貢献することを目的として都市間連携事業を開始しました。2024年2月には、同連携プログラムの一環として進められた、JCMを活用した太陽光発電プロジェクトが完工する等、2人の「OECD Champion mayors」の指導の下で、脱炭素社会の実現に向けた取組が着実に進展しています。また、この連携に関連して、同年6月には伊藤チリ大使が富山市を訪問、同年8月には伊藤環境大臣がレンカ区を訪問するなど両国の交流関係が一層深化しております。

今回のセミナーは、富山市のチリ訪問の機会を捉まえ、両都市のこれまでの連携の成果を振り返りつつ、富山市の企業の紹介を含め更なる協力の可能性を探る絶好の機会となりました。これらの取組を通じて、両都市の発展はもちろん、今日の地球が直面する最大の課題である気候変動への対策として、より持続可能な未来に繋がることが期待されます。



伊藤大使挨拶



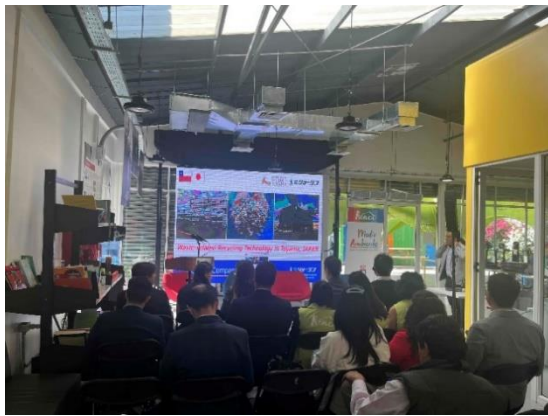
レンカ区長挨拶



参加者の集合写真



富山市のプレゼン



富山市企業リョーシンの紹介



パネルディスカッション